

藍建て【ゆり】



① 種から育てた藍が、いよいよ染めまでの最終工程である『藍建て(あいだて)』の段階になりました。この日は藍染めの名人『佐々木先生』が来てくださいました。



④ 正解は小麦でした！藍が元気になるように、藍甕の中に優しく入れてあげています。

すくもを藍甕の中へ！すくもと一緒に木灰から作った灰汁を60℃に熱し、入れてすくもと混ぜ合わせます。



⑤ 藍が建つまでの間、朝昼夕3回必ず混ぜます。混ぜ方には大切なコツがあって、伝授してもらいました。



③ すくものご飯は「ふすま」。これは何で出来ているのでしょうか？「おこめみたい」「ぱんみたい」と匂いを嗅いで考えます。



⑥ 藍の色々な事を教えてくれた佐々木先生に子どもたちから感謝のプレゼントを贈りました。本当にありがとうございました。

土ひねり【ゆり】

「陶芸家の谷口先生がきてくれる！」と、歓迎の気持ちを込めて、家を掃除し、折り紙などで飾り付けをしました。



思い思いに土にふれ、形が変わっていきます。「触っただけで作品になるよ」と谷口先生に教わりながら楽しみました。



土ひねり当日、谷口先生と会えることを楽しみにしていた子どもたちは興味津々に話を聞き、手先を観察していました。



土粘土を紹介して友だちと会話をしながら、イメージを膨らませ、手指を動かしている間に、オリジナルの作品が生まれていきました。